

京都府中期的な医療費の推移に関する見通し（第3期）の実施状況等 （概要版）

1 とりまとめの趣旨

京都府では、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成30年度から令和5年度までを期間とする「京都府中期的な医療費の推移に関する見通し（第3期）」を平成30年3月に策定。

この度、計画期間が終了したことから、同法の規定により本見通しの実施状況を取りまとめるもの。

2 目標・施策の進捗状況

別紙のとおり

3 医療費の見通し

（1）医療費の見通し（第3期見通し推計）

令和5年度医療費 1兆895億円（取組効果を見込む場合 1兆782億円）

（2）医療費の実績（国民医療費）

H30	R1	R2	R3	R4
9,274億円	9,514億円	9,161億円	9,627億円	1兆27億円

※ 令和5年度国民医療費は令和7年度公表される予定

（3）計画最終年度の医療費見込み

令和5年度医療費（見込） 1兆187億円

※ 令和4年度国民医療費に令和5年度の京都府の概算医療費の伸び(1.6%)を乗じて推計。

実績が推計より低くなった理由

- 入院患者数が推計時の見込み患者数よりも少なく、入院医療費が見通しを下回ったためと考えられる。

・令和5年度入院医療費 実績見込み 4,136億円
第3期見通し 4,711億円

・令和4年度入院患者数 実績（京都府保健福祉統計） 約2.3万人／日
推計に用いた入院患者数 約3.0万人／日

	目標	目標	最新値	主な施策等
府民の健康の保持に関する目標及び施策	特定健康診査の実施率	70% (R5)	55.9% (R4)	<健康づくりの推進> 生活習慣病の予防、ライフステージに応じた健康づくり、たばこ対策等
	特定保健指導の実施率	45% (R5)	26.8% (R4)	
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	24% (R5)	26.8% (R4)	<疾病対策> がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患、認知症の予防等
	喫煙率	12% (R4)	13.2% (R4)	
	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関 0% (R4)	5.4% (R4)	
		医療機関 0% (R4)	6.4% (R4)	
		職場 受動喫煙のない職場の実現を目指す (R4)	18.1% (R4)	
		家庭 3% (R4)	5.8% (R4)	
飲食店 15% (R4)	19.5% (R4)			
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	270人 (R5)	317人 (R4)		
安全で良質かつ効率的な医療の提供に関する目標及び施策	後発医薬品の使用割合 (数量ベース)	80.0% (R5)	82.7% (R5)	<疾病対策> がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患、認知症等の医療の充実等
	服薬情報の一元的・継続的管理の推進	-	-	<在宅医療の推進> 医療・介護・福祉の連携強化、在宅医療体制の充実等 <医薬品等対策> 後発医薬品理解促進、服薬情報の一元的・継続的管理の推進等